

1. 工事箇所

東名高速道路 静岡 IC～焼津 IC間 用宗高架橋（下り線）

（上り線：名古屋→東京方面 下り線：東京→名古屋方面）



## 橋梁の概要

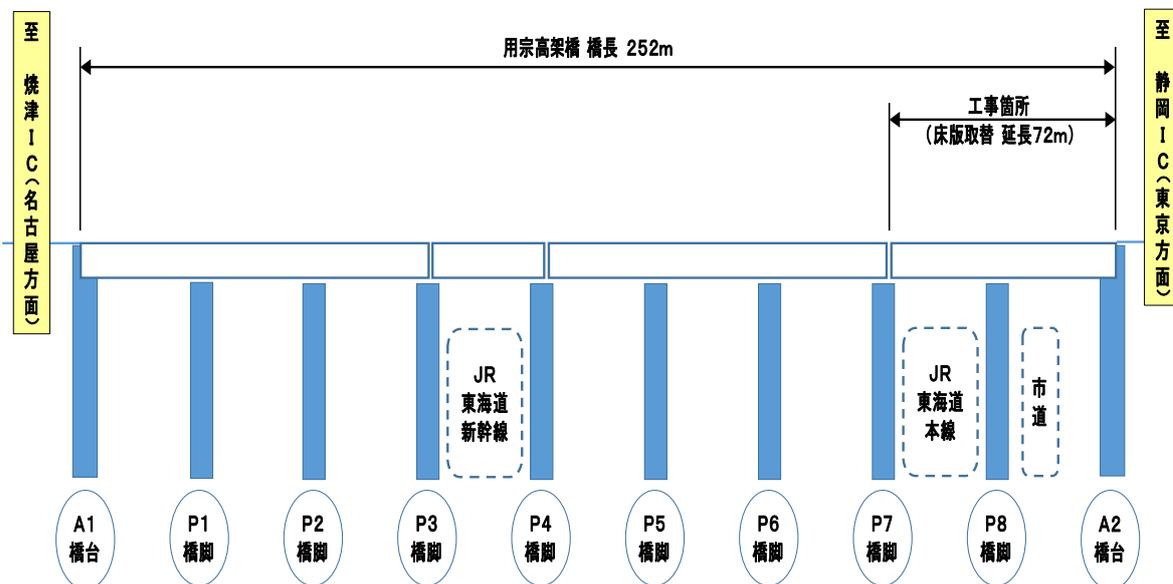
|         |  |
|---------|--|
| 橋梁名     | もちむねこうかきょう<br>用宗高架橋  |
| 開通日     | 1969（昭和44）年2月1日（開通から47年経過）                                   |
| 道路名・区間  | 東名高速道路 静岡 IC～焼津 IC間  |
| 所在地     | 静岡県静岡市駿河区用宗一丁目 地先  |
| 橋長      | 252m   |
| 橋梁上部工形式 | 3径間連続鋼鈹桁（A1～P3）＋単純鋼鈹桁（P3～P4）＋3径間連続鋼鈹桁（P4～P7）＋2径間連続鋼鈹桁（P7～A2） |

## 工事箇所の概要

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 床版取替延長  | 72m（橋長252mのうちP7橋脚～A2橋台の間72mを施工） |
| 橋梁上部工形式 | 2径間連続鋼鈹桁（P7～A2）                 |

用宗高架橋は、東名高速道路 静岡 IC～焼津 IC間に位置し、JR 東海道新幹線、東海道本線及び市道を横断している橋梁です。

今回床版取替工事を行うのは、東海道本線と市道を横断しているP7橋脚からA2橋台の間です。



## 【用宗高架橋の状況】



### 張出部損傷状況



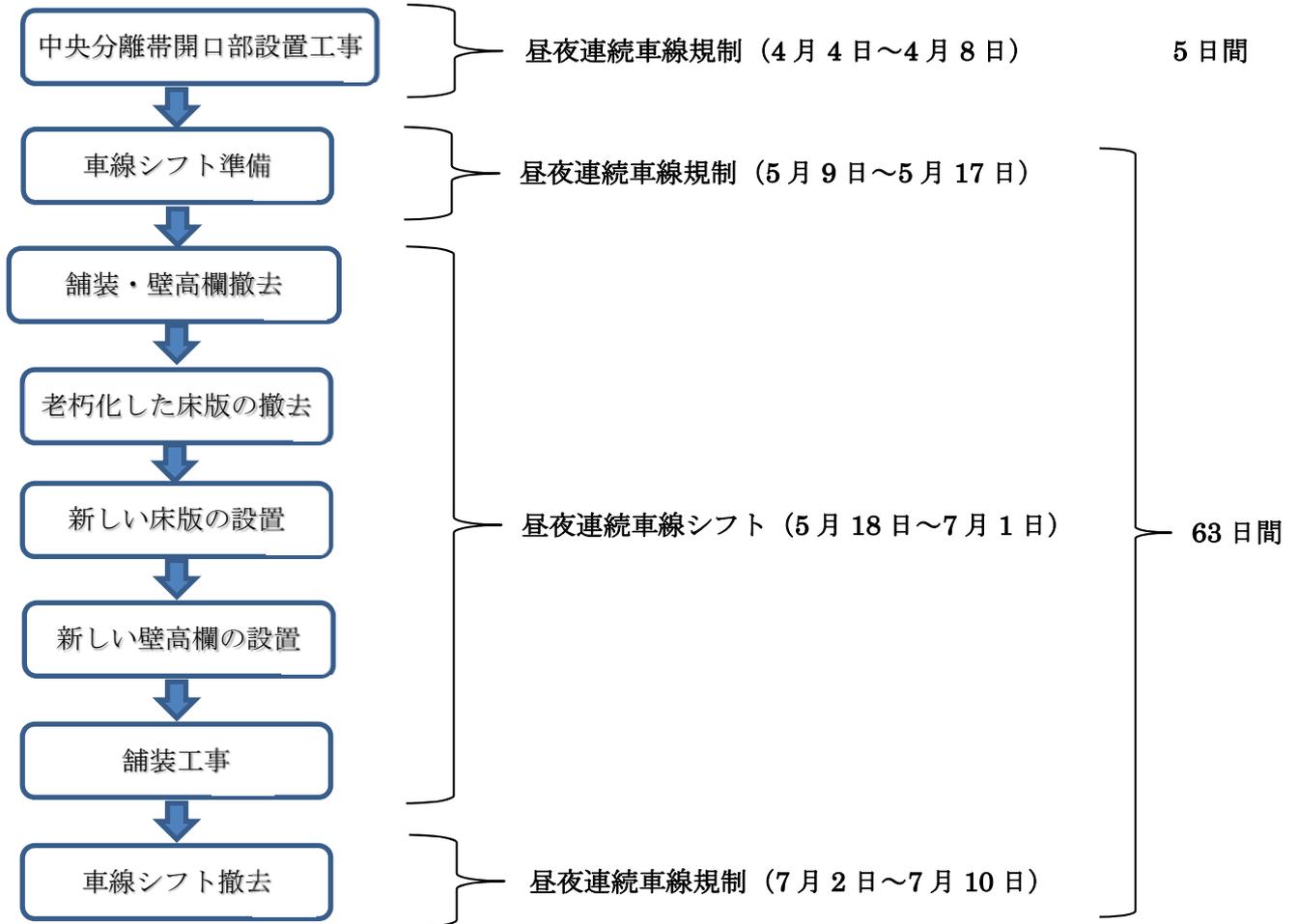
張出部では舗装のひび割れから染み込んだ雨水や凍結防止剤により、コンクリート床版内の鉄筋が錆び、膨張することにより、コンクリートに浮き・はく離が発生。

詳細調査で床版を貫通したひび割れを確認しており、抜本的な対策が必要と判断。

## 2. 工事内容

今回の工事は、老朽化した橋梁の橋桁より上の部分（鉄筋コンクリート床版）を撤去し、新しく工場で製作した床版に取り替える工事です。工事期間を短縮するため、床版や壁高欄は工場で製作した（プレキャストコンクリート）製品を用いて工事を実施します。

### 【今回の工事手順と交通規制種別】



### 【工程表】

| 工種    | 4月 | 5月     | 6月 | 7月 | 8月          | 備考   |
|-------|----|--------|----|----|-------------|------|
| 車線規制  | ■  | G<br>W | ■  | ■  | 夏<br>休<br>み | 昼夜連続 |
| 車線シフト |    |        | ■  | ■  | 夏<br>休<br>み | 昼夜連続 |
| 床版取替工 |    | ■      | ■  | ■  | 夏<br>休<br>み |      |
| 準備工事  | ■  |        |    |    | 夏<br>休<br>み |      |

ゴールデンウィーク及び夏休み期間を避けて工事を実施。

## 床版取替工事の実施例 <中央自動車道 伊那 IC～駒ヶ根 IC間 小沢川橋>

### 【対面通行規制による床版取替工事の状況】



小沢川橋の床版取替工事では大型クレーン車を工事箇所に配置し、工事を行いました。

工事期間中は、反対側の車線に集約した対面通行規制を行い、上下線の通行を確保しました。

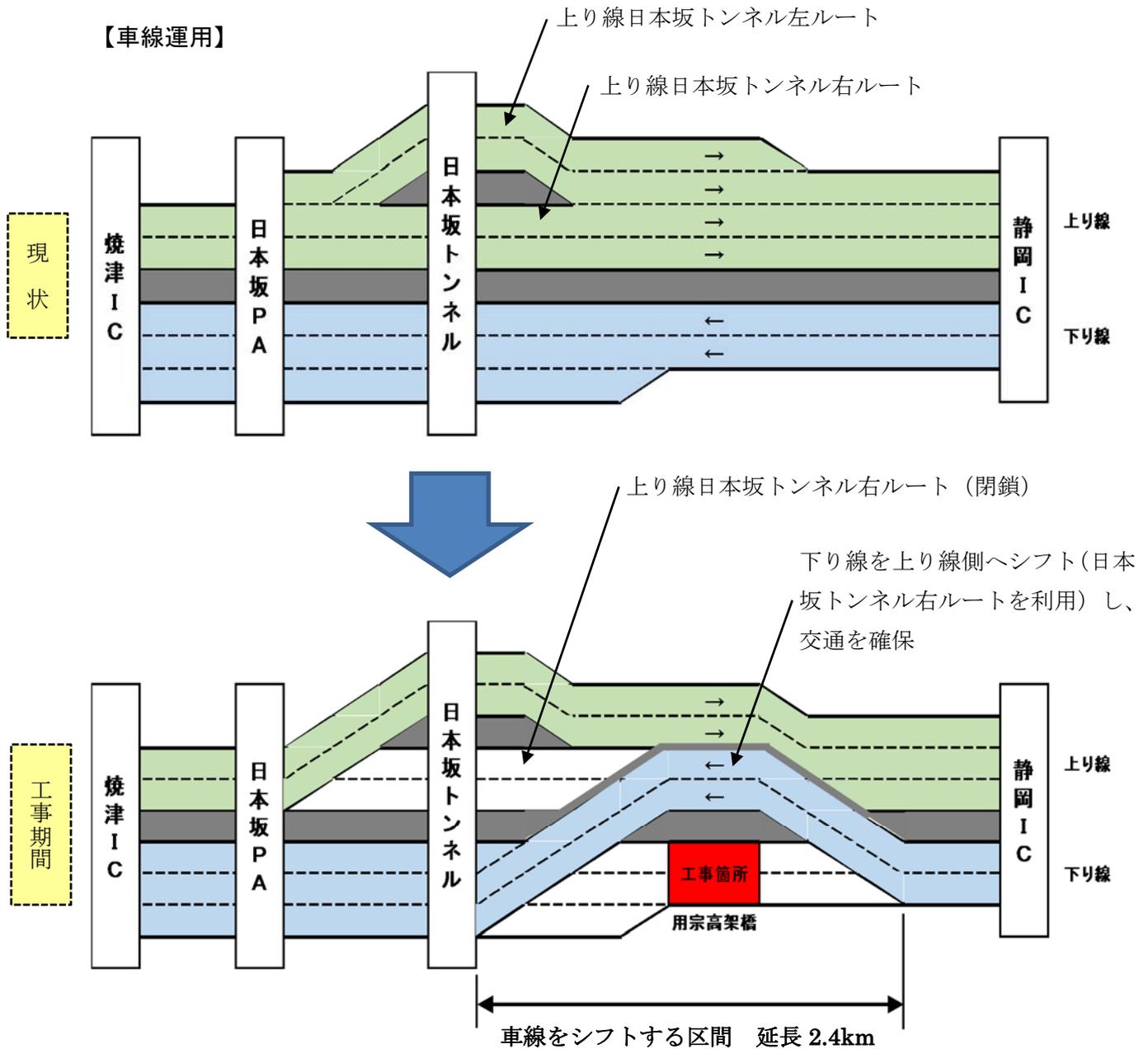
### 【床版取替（新しい床版の設置）状況】



老朽化した鉄筋コンクリート床版の撤去や新しい床版（プレキャストコンクリート床版）の設置は、大型のクレーンを使用して行いました。

### 3. 交通規制の状況

#### 【車線運用】



工事期間中は、東名高速道路 上り線日本坂トンネル右ルートを閉鎖し、下り線を上り線側へシフト（日本坂トンネル右ルートを利用）することで交通を確保しながら工事を実施します。

工事区間では車線幅及び路肩幅が狭く、最高速度は、50 km/h となっておりますので、安全に留意して通行願います。

### 4. 迂回路

東名高速道路は、渋滞が予想されますので、新東名高速道路に迂回をお願いします。

## 5. お客様への影響を最小限とする工夫

1. 渋滞の発生を最小限とするため、路肩を活用して上下線4車線を確保しました。
2. 工事期間を短縮するため、新しい床版や壁高欄は、工場で製作した製品（プレキャストコンクリート製品）を用いて工事を実施します。

## 6. 交通規制などの情報

### ①交通規制などのご案内

横断幕、懸垂幕、予告看板、ポスターなどで事前にお知らせします。

### ②NEXCO 中日本公式ウェブサイト

通行料金など高速道路に関する各種情報を確認することができます。

<http://www.c-nexco.co.jp/>



### ③日本道路交通情報センターの道路交通情報

インターネット（ <http://www.jartic.or.jp/> ）や電話で道路交通情報を入手できます。

電話番号 全国統一番号 050-3369-6666※

※全国どこからでも、最寄の情報センターに接続します。

携帯短縮ダイヤル「#8011」

### ④iHighway 中日本（アイハイウェイ中日本）

全国の高速道路交通情報を携帯電話のウェブサイトを利用して、マップや文字でご確認いただけます。また、通行止めが発生または解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。



<http://c-ihighway.jp/>



### ⑤ハイウェイテレホン

リアルタイムの主要道路の交通情報（5分更新）を24時間入手できます。

携帯電話から「#8162 [は一い、無事（帰る）]」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

固定電話からは「#8162」をご利用いただけません。固定電話からは、以下のハイウェイテレホンをご利用ください。

|        |      |              |
|--------|------|--------------|
| 東名高速道路 | 東京局  | 03-5491-1620 |
|        | 川崎局  | 044-866-1620 |
|        | 横浜局  | 045-923-1620 |
|        | 御殿場局 | 0550-82-1620 |
|        | 富士局  | 0545-51-1620 |
|        | 静岡局  | 054-288-1620 |
|        | 浜松局  | 053-435-1620 |

また、音声によるハイウェイテレホンと併せて携帯電話のウェブサイトでご確認いただける、「目で見えるハイウェイテレホン」もご活用ください。

なお、自動車走行中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用

の際は SA・PA にてお願いします。

- ・ 関東・甲信越地方の高速道路情報

<http://www.yokohama1620-c-nexco.jp/main/index.shtml>



- ⑥その他高速道路の情報板、ハイウェイラジオ（1620kHz）、ハイウェイ情報ターミナルなどでもご案内しております。

## 7. 安全対策および渋滞対策

中日本高速道路株式会社では、工事規制箇所・渋滞箇所での注意喚起、連続規制などを実施し工事期間中の交通事故防止に取り組んでいます。

- ・ 渋滞末尾での追突事故防止

渋滞末尾での追突事故を防ぐため、渋滞情報の提供や渋滞に応じて注意喚起の標識車を工事規制箇所の手前や渋滞末尾に配置し警戒にあたります。



【ご利用のお客さまへのお願い】

◎ 渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾での追突事故のおそれがあります。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして追突事故の防止を心掛けてください。



◎ 全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する場合があります。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いします。(2008年6月1日より道路交通法が改正され、後部座席のシートベルトの着用が義務付けられました。)

